

# 船舶滿載吃水線法案特別委員會議事速記録第二號

大正十年二月十八日(金曜日)午前十一時二十四分  
開會

○委員長(伯爵堀田正恒君) ソレデハ是カラ開會致シマス、前回ニ續キマシテ御質問ヲ願ヒマス

○橋本辰二郎君 今回遞信省所管ニ於テ御實行ニナツテ居リマス船舶検査ヲ、帝國海事協會ニ開放致シマシテ御認可ニナツテ居ルヤウニ聞キマシタ、ソレハ船舶種類若ハ噸數等ニ依リマシテ範圍ヲ定メテアリマスル次第デゴザイマスカ、ソレカラ致シマシテ、若シ帝國海事協會ニヤラシテ居ルトスレバ、帝國海事協會ノ検査ノ手數料ト、遞信省ノ検査ノ手數料ト、比較ノ割合ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(若宮貞夫君) 御答致シマス、貨物船ニ付キマシテ特別検査ト及ビ部分検査ニ限リマシテ、帝國海事協會ノ致シマシタ處ノ検査ヲ、其效力ノ期間内ニ於テ之ヲ認メルコトニナツテ居リマス、夫カラ此手數料ノコトハ、唯今材料ヲ出シテ居リマス、取調ベマシテ後刻御答申上ゲマス

○橋本辰二郎君 唯今帝國海事協會ノ船級部ニ依ッテ取扱ツテ居リマスル、乾舷表ニ對シマスル手數料ノ割合ヲ御承知ナラバ、承リタイ

○政府委員(若宮貞夫君) 聊カ細カイ表デゴザイマスガ、ト申シマシテモ五六箇條デゴザイマスカラ、申上ゲマセウカ

○橋本辰二郎君 表ヲ願ヒタイ  
○政府委員(若宮貞夫君) 後ニ表ヲ差上ゲルト致シマシテ、茲ニ簡單ニ申上ゲマスデスガ、帝國海事協會ノ船級部ガ、唯今滿載吃水線ノ規定ノ受領致シテ居リマス手數料ハ三百噸未滿ガ四十圓、三百噸以上五百噸未滿ガ六十圓、五百噸以上千噸未滿ガ九十圓、千噸以上二千噸未滿ガ百二十圓、二千噸以上三千噸未滿ガ百七十圓、三千噸以上四千噸未滿ガ二百二十圓、四千噸以上八百噸ヲ増ス毎ニ五圓ヲ増徴スル、斯ウ云フコトニ相成ツテ居リマス  
○橋本辰二郎君 唯今ノ海事協會ノ料率ナルモノ

ハ、他ノ外國ノ船級協會ノ料金ト比較上ドウ云フ風ニナツテ居リマスカ、御分リニナツテ居ルナラバ承リタイ

○政府委員(若宮貞夫君) 私ガ承ハツテ居ル處ニ依リマス、英吉利ノ船級協會ノ料率ヨリ高イト云フコトデゴザイマス、...料率ガ多イト云フコトニ承ハツテ居リマス、但シ此料率ニ付キマシテハ御承知ノ通り英國ノ「ロイド」協會ノ如キハ、殆ド特別検査ノ全部ヲ引受ケテ居ルノデゴザイマシテ、全體ノ比較ヲ致ス上ニ付キマシテハ、恐ラクハ此ノ特別検査設計料ト云フモノト、此ノ滿載吃水線指定料ト云フモノヲ相加ヘテ見ナケレバナラマイカト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○橋本辰二郎君 外國ノ料金ヨリモ、帝國海事協會ノ率ガ少シク高ク定メラレテ居ルト云フコトデゴザイマスガ、遞信省ニ於テ御定メニナツテ居リマスル料率ナルモノハ、外國ノモノニ準ゼシメルト云フ御考デアルカ、又ハ帝國海事協會ト協定ノ下ニ料率ヲ御定メニナルト云フ御考デアリマスカ

○政府委員(若宮貞夫君) 前回ニ於キマシテ同様ノ御質問ニ對シテ御答ヲ申上ゲテ置キマシタヤウニ、本法案ノ趣旨ハ、内外船級協會ノ指定ヲ認メマス積リニナツテ居リマスルカラシテ、内外船級協會ノ間及ビ内外船級協會ト遞信省ノ間ニ於テ、餘リ多クノ料金ノ差ハ事實ニ於テ行ハレナカラウト、斯様ニ推定イタシテ居リマスルカラ、自然唯今御答ノ點ニ付キマシテハ、雙方ニ最モ近イモノ、サウ云フ點ニ落付クデアラウカト豫定イタシテ居リマス

○橋本辰二郎君 先程御尋ネ致シマシタル、検査上ノ御調べガ付キマシタナラバ、  
○政府委員(若宮貞夫君) 詳細ナルモノハ御手元ニ差上ゲマスガ、大要承リマス所ニ依リマス、凡ソ遞信省ノニ比ベマシテ、海事協會ノ方ハ二倍程ニナツテ居ルサウデゴザイマス

○橋本辰二郎君 サウ致シマスルト、是ハ少シ意見

ノヤウニモアリマスガ、先ヅ質問シテ御聽キヲ願フノデアリマスガ、一昨日政府委員ガ斯波男爵ノ御質問ニ對シテノ御答辯中ニ、此法律ヲ實施スル上ニ於テハ、三箇年ニ於テ大體五百噸以上ノモノヲ完了シタイト云フ考デアル、併シ遞信省ノモノヲ完了是ダケノモノヲ仕遂ゲルト云フコトハ、困難デアルカラ、其ノ約三分ノ一ハ海事協會ノ手ヲ煩ハスト云フ考デアルト云フ、斯ウ云フコトデゴザイマシタ、大抵検査若クハ特別検査ノ際ニ、御實行ニナルト云フコトデゴザイマスルガ、若シ唯今承リマシタ所ノ定期若クハ特別検査ニ對スル手數料ヲ、遞信省ノ分ヨリモ海事協會ノ方ガ 倍ニ上ボツテ居ルト云フコトニナリマシタナラバ、總テノ船主ハ即チ安イ所ノ遞信省ノ方ニ御願ヒラスルト云フコトニナリマシテ、海事協會ニ頼ム人ハ極ク僅カノモノニナルコトデアラウト思ヒマス、尤モ遞信省ノ方デ非常ニ御差支ヘデアツテ、船ヲ空シクスルガ爲ニ、遊バセナケレバナラヌ場合ニ於キマシタナラバ、特別デアリマスケレドモ、然ラザル限リニ於キマシテハ、大抵皆遞信省ノ方ニ検査ヲ受ケルコトニ希望スルデアラウト思ヒマス、果シテサウデアリマシタナラバ、此乾舷標ノ仕事ノ三分ノ一ヲ海事協會ノ助力ニ俟ツト云フ御考ハ、根柢ヨリ崩レハシナイカト考ヘマス、從ツテ三箇年間ニ此仕事ヲ完了シヤウト云フ思召モ、茲ニ目的ヲ達セザルヤウナコトニナリハシナイカト思ヒマスルガ、其邊ノ御考ハ如何デゴザイマスカ

○政府委員(若宮貞夫君) 誠ニ御尤モナ御尋ネト心得マスガ、私ガ前回來申上ゲマスコトガ少シゾンザイデ、十分御分リ感クカッタ結果デアラウト思ヒマスガ、前回以來申上ゲマスルヤウニ、本案ノ趣旨ハ内外船級協會、即チ單リ帝國海事協會船級部ノミナラズ、

「ロイド」...外國ノ船級協會ノ指定ヲモ承認イタス所有者ニ於キマシテハ、遞信省ノ認定ヲモ受ケ得マ

貴族院船舶滿載吃水線法案特別委員會議事速記録第二號  
大正十年二月十八日

スルシ、又是等承認ヲ經テ居リマス所ノ、内外船級協會ノ檢定ヲモ受ケ得ル立場ニナツテ居ルノゴザイマス、ソレデゴザイマスカラシテ、此ノ前同斯波男爵ノ御尋ネニ對シマシテ、私ガ御答致シマシタ、約三分ノ一内外ハ、内外船級協會ノ檢定ヲ受ケシムル豫定デアルト申上ゲマシタノハ、是ハ内外船級協會ノ意味デアリマシテ、單リ帝國海事協會ダケノ意味デハゴザイマセヌ、然ラバ内外船級協會ノ間ニ、ドウ云フ割振リニナルデアラウカト云フコトヲ考ヘマスルト云フト、是ハ勿論御尋ネノ如ク料金ノ高低モゴザイマセウ、又事務ノ取扱ヒノ早イ遲イト云フコトモゴザイマセウガ、ソレノ業務ノ取扱ヒ方ニ付キマシテ、最モ便宜ナリトスルモノニ依リマス方ガ、最モ多ク手數ガ省ケルコト云フコトノ結果ニナラウト考ヘテ居リマスガ、右申上ゲマスルヤウニ、遞信省ナリ内外部級協會ナリ、適當ナリト認ムル所ノモノノ檢定ヲ受ケル立場ニアリマスルカラシテ、料率ノ如キモ自ラ此法律ガ布カレルヤウニ相成リマシタナラバ、サマデ彼是ト考慮イタシマシテ、違ヒノ生ズル譯ハゴザイマセヌノデ、具體的ニ申シマスルト云フト、遞信省ノ料金モ、内外船級協會ノ料金モ、全部ヲ綜合イタセバ、船舶所有者ニ對シテハ、餘リ多クノ差違ヲ生ゼザルモノニ落付クデアラウト、斯様ニ豫定イタシテ居ル次第デゴザイマス

○黒岡帶刀君 私ハ當局政府委員ノ方ニ御質問ヲ申上ゲタイノデスガ、此今ノ第十二條ニ「主務大臣ノ特定ナル船舶ヲ航行ノ用ニ供シ」斯ウ云フコトガアル、船舶滿載吃水線證書ヲ受ケザル船舶ト云フコトハ、是ハ受クベキ資格ガアルケレドモ、滿載吃水線證書ヲ受ケルコトヲ意ツタモノトアリマスケレドモガ、全ク是ハ受クベキ資格ガナイモノデアアルカ、資格ガアルケレドモ受クベキコトヲ意ツタト云フ御趣意デゴザイマスカ、ドウデアリマスカ

○政府委員(若宮貞夫君) 勿論此原則ト致シマシテ、吃水線證書ヲ受ケテ、航行イタスト云フ事ガ原則テゴザイマスカラ、此手續ヲ經マセヌデ、船舶ヲ航行ノ用ニ供シタリ、又ハ滿載吃水線ノ指定ヲ受ケテ居

リマスガ、其ノ吃水線ノ標示ヲ無視シテ、ヨリ以上ニ船ヲ沈メテ航行スルト云フ場合ニ於テハ、此ノ第十二條ノ罰則ニ依ツテ之ヲ罰シ、之ニ依ツテ矯正イタスト云フ事ニナルト云フ根本義デアリマスケレドモ、サリナガラ之ニ依リマシテ罰スルコトノ出來ナイ場合ガ出來テ參リマスノデゴザイマス、例ヘテ申シマスレバ、未ダ此施行ノ順序ガ參リマセヌデ、是ハ前同モ申上ゲマシタノデアリマスガ、一時ニ實施ガ出來マセヌ爲ニ、別ニ規定ヲ設ケマシテ、船毎ニ施行ノ順序ヲ定メルヤウニナツテ居リマスガ、其順番船舶ニ參リマセヌ船舶ノ如キハ、之ヲ罰スベカラザルモノデアリマスシ、又其他特殊ノ場合ト致シマシテ、此船舶ノ居リマスル場所デ檢査ノ出來ヌト云フヤウナ場合ハ、船舶ヲ檢査イタス場所ニ廻航イタシテ參ルト云フコトモ、是ハ罰則ヲ適用スル譯ニ參リマセヌシ、ソレ等ノ特例ナル場合ヲ、主務大臣ガ特ニ定メテ罰セザルコトニ例外ヲ置キタイト云フ、斯ウ云フ精神ニナツテ居リマス

○黒岡帶刀君 外國ノ例ヲ見マスルト、責任ハ總テ船長ニ歸スル様ニ見エマスガ、内國ノ船舶法ニ於テ第七條ニ「日本船舶ハ法令ノ定ムル所ニ從ヒ日本國旗ヲ掲ケ且其名稱、船籍港、番號、積量、吃水ノ尺度其他ノ事項ヲ標示スルコトヲ要ス」ト斯ウアル、其事ヲバ此ノ第二十六條ニ「第七條ノ規定ニ從ヒテ日本國旗ヲ掲ケサルトキハ船長ヲ五百圓以下五百圓以下ノ罰金ニ處ス」ソレカラ第二十七條ニ「第七條ニ定メタル事項ヲ船舶ニ標示セサルトキ又ハ第八條乃至第十二條若クハ第十四條ノ規定ニ違反シタルトキハ船舶所有者ヲ五百圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス」トアリマスガ、コノ日本ノ船舶法デハ船長ヲ罰スルトト、船舶所有者ヲ罰スルコトト二様ニナツテ居リマ

スガ、外國ノ法ハ船舶所有者ヲ罰スルコトハナイ、皆船長ヲ罰スルノデアリマスガ、此船舶法ヲ見マスルト、國旗ヲ掲ゲナイトキハ船長ヲ罰スル、船ノ名稱船籍トカ番號トカ吃水ヲ標示セヌトキハ船舶所有者ヲ罰スルト云フコトニナツテ居リマスガ、十二條ニ於テハ船舶所有者ハ全ク責任ハナイモノデアリマスカ、ドウデゴザイマセウカ

○政府委員(若宮貞夫君) 唯今船舶法ノ罰則ニ付キマシテハ仰セノ通りデゴザイマシテ、ソレデ船舶法ノ立法ノ精神ハ申上ゲルマデモナイコトデゴザイマスケレドモ、船舶所有者ガ爲スベキ義務ト云フ事ニ付キマシテ、之ニ違反ガアル時ニハ船舶所有者ヲ罰スル、斯ウ云フ精神ニ相成ツテ居リマス、尙ホ具體的ニ申シマスルト云フト、船舶法ノ規定ニ從ヒマシテ、日本船舶ト云フモノハ日本ニ於テ海籍港ヲ定メテ、其船籍港ヲ管轄スル管海官廳ニ積量、速度ヲ申請シ、積量速度ノ事ガ終レバ登録ヲ致シ、之ニ對シテ船舶國籍證書ヲ請受ケルト云フ順序ニナツテ居リマシテ、是ハ物ノ性質カラ見マシテ、船ヲ有ツテ居ル所有者ガナスベキ義務ニ屬スルモノデアリマスカラシテ是等ノ關係ニ於キマシテ違反行爲ガゴザイマスレバ、是ハ船舶所有者ヲ罰シマス、ソレカラ船舶ヲ運行イタス、動カシテ參ル上ニ付テノ取締法ニ背反ヲスル場合ニ於キマシテハ、大體ノ原則トシテ船長ヲ處罰スル、斯ウ云フ分類ニ相成ツテ居ルノデゴザイマス、ソ

コデ御尋ノ點ニナリマシテ、此吃水線ノ法案ノ第十二條ニナリマスルト云フト、船ヲ運行イタス上ニ付テノ取締デアリマシテ、即チ本法案ノ主眼點ハ船舶ノ航海ノ安全ヲ圖ルト云フ事ニゴザイマスカラシテ、此方ハ運行問題ト致シテ船長又ハ船長ニ代テ其職務ヲ行フ所ノ者ヲ處罰シテ取締スル、斯ウ云フ精神ニナツテ居ルノデアリマス、第十二條ノ罰則ハ原則トシテ船長ヲ罰スルト云フコトニナツテ居リマス

○黒岡帶刀君 サウシマスルト、船舶滿載吃水線證書ヲ受ケルノヲ意ツタト云フコト、ナイト云フ時ニハ、マダ證書ヲ渡サナカッタ、斯ウ云フヤウナ事ニナリマスルト云フト、ソレモ矢張りサウ云フ場合ニ於テハ勿論航行ニ供スルコトハ出來マセヌガ、其事情ニ於テ矢張りサウ云フヤウナ船舶ノ所有者ガ意ツタト云フ場合ガアツテモ、矢張り船長ガ責任ヲ負ハナケレバナラヌ譯デアリマスカ

○政府委員(若宮貞夫君) 唯今御答イタシマシタノハ、船ヲ動カシマスル方ノ側カラ申上ゲタノデアリマシテ、仰セノ點ハ誠ニ御尤モニ承リマシタガ、此取締ノ上カラ見マシテ、船サハ動カシマセネバ航海安全ト

云フコトノ方ニハ差支ナイモノデアリマスカラ、ソ  
コデ仰セノ如ク船主側モ罰シテ宜イノデゴザイマス  
ケレドモ、先ヅ船ノ動カサヌト云フ側カラ見マステ  
バ、航行ノ安全ヲ保チ得ルト云フ見込ヲ有ツテ居ル、  
此ノ第十二條ニ於テハ動カス側ヲ取扱フ様ナ仕向ケ  
ニナツテ居ルノデゴザイマス、左様御了承ヲ願ヒマス  
○黒岡帶刀君 ソレカラ此ノ滿載吃水線ト云フコト  
ハ、近頃ノ法令ニハアリマスカラ、又此ノ登録法ヲ見  
マスルト云フト最大吃水ト云フコトニナツテ居リマ  
スガ、ソコデ是ハ實ハ同ジコトデアリマスカレドモ  
ガ、又造船ノ許可書ヲ見ルト云フト、色々ノコトヲ云  
ツテ居リマスガ、是ハ遞信省ニ於テドチラカニ御統一  
ナサル積リデアリマスカ、ドウデゴザイマスカ

○政府委員(若宮貞夫君) 從來公ケノ法規ニ於キマ  
シテ、此意味ヲ言ヒ現ハシマスル事ニ付テ、格別確定  
シタ所ノ用語ハナカッタノデアリマシテ、仰セノ通り  
ニ船舶検査法規ノ中ニ滿載吃水線ト云フ文字ヲ使ッ  
テ居リマシタノデ、外國ノ方ノ例ヲ調ベテ見マシタ  
所ガ、船ノ水ノ上ニ出テ居ル方ノニ使ツタ名前ニハ乾  
舷トモ付ケテ居リマス、又船ヲ沈メル方カラ申シマ  
シタ言葉ニハ滿載吃水ト云フ文字ヲ使ッテ居ルノモ  
アリマス、其何レニ一定致サウカト云フ事ニ付テ、大  
分苦心ヲ致シテ取調ベテ見マシタノデアリマスカ、  
英吉利ノ法規ノ如キモ吃水線ノ方カラ見テ居リマス  
ルシ、又我國ノ法規ニ於キマシテモ、唯今申述ベマシ  
タ様ニ、検査法規ノ方ニ滿載吃水線ト云フ字ヲ使ッテ  
居リマシタモノデアリマスカラ、ソコデ今後ハ滿載  
吃水線ト云フ方ニ一定致シタイト思ヒマシテ、御趣  
意ノ通り今後ハ成ルベク統一スル積リデアリマス

○黒岡帶刀君 ソレカラ登録法第十九條ニ、最大吃  
水ト云フコトガアリマスカ、サウスルトソレヲ登録  
シナケレバナリマセヌガ、  
○政府委員(若宮貞夫君) 御尤モデアリマス、船舶  
法ノ施行細則ニ左様ニ認メテアリマス  
○黒岡帶刀君 ソレハ何レ統一ナサルヤウデアリマ  
セヌネ  
○政府委員(若宮貞夫君) 同様ノ場合ニ於キマシテ  
ハ、統一ヲ致ス積リニ豫定シテ居リマス

○黒岡帶刀君 御説明書ヲ見ルト云フト、造船ノ基  
礎ヲ之デ定メルト云フコトデゴザイマスカ、ソレハ  
ドウ云フヤウナコトガ、ソノ中段々アリマスカレ  
ドモ、重ナル譯デアアルカ私ハ存ジマセヌガ、第一理由  
書ヲ見マスト、本員ノ考ヘデハ日本ノ船舶ト云フ  
モノハ亞米利加ニモ參リマスカ、歐羅巴ニモ參ル、  
又支那地方ニモ參ル、支那地方ニ參ルト上海ノ川、福  
建ノ川、天津ノ川ト云フヤウナモノガアリマシテ、サ  
ウシテ水ニ這入ルト滿載吃水線ノ方ガ、船ガ沈ミマ  
スカラ違ヒマス、ソコデ海ニ出ルト云フト滿載吃水  
線ニナルカ、水ノ中ニ這入ルト滿載吃水線ガ沈ンデ  
行ク、ソコデドコデモ川ニハ淺瀬ガアルカラ、英國等  
ノ東洋ノ支那沿岸ノ航行ノ爲ニ殊更ニ造船シタモノ  
ハ皆ソレニ適應シテ船ガ造ツテアル、ソレデ淺イ處ニ  
モ這入ルヤウニ準備シテアルシ、其ヤウニ造船ノ基  
礎ヲ定メテ居ルヤウニ聽イテ居リマスカ、チヨット例  
ヲ申上ゲルト云フト、本員ガ臺灣ニ居ル時ニ、三  
十二年頃デアリマシタガ「ドグラス」ト云フ船ガアリ  
マシテ、淡水ノ川ニ這入ルヤウニ船ガ造ツテアル、ト  
コロガ其船ガ一度差支ヘテ貨物船ヲ代用シタコトガ  
アリマシタガ、其時ニ私ガ非常ニ困ツタノデアリマス  
ガ、元ト海ニ使ッテ居ツタ貨物船デアアルカラ淡水ノ川  
ニ這入ル時ニハ、丁度吃水ヲ半分ニシナケレバナラ  
ヌ、サウスルト「スクリユー」ガ半分出テ居ルト云フ  
コトデ、餘程私ハ困ツタコトガアリマス、淡水ノ川ニ  
這入リマスト云フト「スクリユー」ガ空廻リマスル、  
風ガ吹イテ船ノ動搖ガ烈シイト云フコトデ、大變  
迷惑ヲシタコトガアリマスカ、其他ノ船デハ造船ガ  
總テ淡水ノ川ニ這入ルヤウナ釣合ニ皆出來テ居リマ  
ス、サウ云フヤウナ風ニ造船ノ基礎ヲ定メナクチャ  
ナラヌ、ソコデ私ガ支那ノ方ニ臺灣カラ行ツテ見ル  
ト云フト、香港カラ天津ニ這入ルト云フヤウナ船ハ、  
皆ソレニ適應スルヤウニ、造船ノ方ガ出來テ居ル、ソ  
コデ造船ノ基礎ヲ定メルト云フヤウナコトハ、或ハ  
川ノ中ニ這入レバ船ガ沈ムカラ、ソレニ適應シタコ  
トヲヤラナクチャナラヌ、又河岸ノ方ヲ通ルニハ船  
ガ淺クナクチャナラヌ、ソコデソレニ適應スルヤウ  
ニ造船ノ基礎ヲ定メナクチャナラヌト思ヒマスカ、

其點ハ如何デアリマスカ  
○政府委員(若宮貞夫君) 本法案ニ於テ定メントシ  
マスル所ノ趣旨ハ、ドノ船舶ガトノ位マデ船ヲ沈メ  
テ外海ヲ航海致シテモ安全ナリヤ否ヤト云フ標準點  
ヲ定メタイト云フノガ主眼點デゴザイマスルカラシ  
テ、若シ船舶所有者ガ川ナリ、若クハ沿岸ノ吃水ノ淺  
イコトヲ要スル所ナリヤ 航行スル積デ、造船ヲ致ス  
ト云フ場合ニ於キマシテハ、船體ニ應ジマスカラヤウ  
ニ計算ヲ致シテ吃水線ヲ表示スル積リデゴザイマス  
ルカラシテ、此ノ法案自體ニ於キマシテ、船ノ淺吃水  
デアルトカ、深吃水デアアルカト云フ事ヲ支配スル趣  
旨ハ、毛頭含ンデ居リマセヌノデゴザイマス、ガ併ナ  
ガラ御言葉ノ通り確ニ其用途用途ニ依リマシテ、淺  
イ吃水ヲ便利ナリトスル場合ハ屢々出來テ參リマ  
ス、殊ニ仰セノ如ク支那ノ沿岸ヲ縫ウテ航海ヲ致ス  
船ノ如キハ廣東ノ川ナリ、揚子江ナリヘ這入ラネバ  
ナラヌト云フ必要ガゴザイマスルノデ、自然政府ノ  
側デモ段々指定ヲ致シマシテ、近頃ソレヲノ方面デ  
専門ニ使用イタサウト云フ目途ヲ以テ、新造イタシ  
マスルトコロノ船舶ハ、相當吃水ノ點ニ注意ヲシテ  
建造シツ、アルノデゴザイマス、一例ヲ申上ゲマス  
ルト云フト、「バンコック」ニ航行ヲ致サント欲シテ建  
造シタ所ノ船舶ト云フガ如キハ、此川口ノ所ガ餘リ  
多ク吃水ヲ許シマセヌノデ、淺吃水ノモノヲ造ツテ居  
リマス、又同ジヤウニ、遞信大臣ノ命ニ依リマシテ、  
日清汽船會社ガ南支那ノ定期航海ニ使用イタスベ  
ク製造シツ、アル船舶ノ如キハ、比較的淺吃水ノ構  
造ニナルヤウニ設計シテ居ルト云フ風ニ、指定ハ致  
シテ居リマス、併シ本法ノ範圍デハ、淺吃水ヲ選ブ  
ヤ、深吃水ヲ選ブヤト云フコトハ船舶所有者ノ自由  
ニ委セテ居リマス

○黒岡帶刀君 サウ致シマスト此造船ノ基礎ヲ定  
メルト云フヤウナコトハ一般ノコトデアリマシテ、  
又支那沿岸等ヲ航行スル船舶ノ如キハ特別ノ構造ヲ  
スベシト云フヤウナコトモ 矢張り其内ニ含ンデ居  
ルコトハ含ンデ居ルノデアリマスカ、ドウデアリマ  
スカ  
○政府委員(若宮貞夫君) 唯今申述ベマシタ如ク

ニ、此法案ニ依リマシテ、ドウ云フ吃水ノモノヲ造ラ  
スト云フコトヲ指定シ、又ハ否定スルト云フ意味ハ  
ゴザイマセヌノデアリマスガ、去リナガラ、仰セノ如  
クニ、此支那ノ沿岸等ニ使フ淺吃水ノ船舶ヲ拵ヘタ、  
斯ウ云フ場合ニ於キマシテ、其船舶ニ適應イタシマ  
スヤウナ吃水ヲ指定イタス、斯ウ云フ積リニナツテ  
居リマス

○黒岡帶刀君 此外國ノ船舶ニ於テココニアル通り  
ニ大西洋トカ、或ハ印度洋トカドコトカ云フ航路ガ  
アリマシテ、ソレニ對シテ滿載吃水線ノ表示ヲスル  
ト云フコトガアリマスガ、是ハドコカ知レマセヌガ、  
私ハ外國ノ北大西洋ト英國トノ比較線ヲ貫ツタコト  
ガアリマスガ、之ヲ見マスト云フト、英國ノ、紐育ト  
「リバープール」トノ間ヲ通ヒマスル船ハ、皆其航路  
ガ、此會社ガ緯度ハ何度、經度ハ何度ヲ通ルト云フヤ  
ウニシテ皆同ジ經度ヲ通ラナイヤウニシテ居ル、サ  
ウシテ衝突ヲ來サナイヤウニシテ居ル、此會社ガ何  
等、此會社ガ何度ト云フコトガ決マツテ居ル、ソコデ、  
吃水ノ比量モ海水ニ依ツテ印度洋モ違ヒ、熱帶地方モ  
違ヒ、寒イ地方モ違フカラ色々違ヒマセウガ、我國ニ  
於テハ横濱ト「サンフランシスコ」、ソレカラ又横濱  
ト晚香坡ト云フヤウナモノガアリマスガ、サウ云フ  
會社ハドコヲ通ラウト云フヤウナ航路ノ御見込ガ將  
來付イテ居リマスカ、ドウデアリマスカ

○政府委員(若宮貞夫君) 日本デハマダ左様ナ規定  
ハ設ケテ居リマセヌデス、殊ニ定期航海ヲ營ム船舶  
ニ於キマシテハ規定ヲ設ケ、或ハ申合セニ依リマシ  
テ大凡航海イタス所ノ船舶ヲ設ケテ置クコトガ出來  
ヤウト思ヒマスガ、一般ノ貨物船ニ付テハ御承知ノ  
通り東西南北、今日歐羅巴ニ參ッテ居リマスモノガ明  
日ハ亞米利加ニ參ルト云フ風デ、所定メズシテ、定期  
ノ航海ヲ致スノハ不能デアリマス 是ハ一般ノ船舶  
ニ對シテ經緯度上、此定期船舶ヲ定メルコトハ不可  
能デハナイカト考ヘマス、ソレカラ定期航海ニ付テ  
ハ北大西洋ニ於キマシテ頻繁ニ歐羅巴亞米利加ノ間  
ニ定期航海船舶ガアル如クニ 日本ノ船舶ハ到ル處  
ニ於テソレ程頻繁デアリマセヌ、マダ其時ノ申合セ  
等ハ出來テ居ナイヤウナ譯デアリマス

○黒岡帶刀君 本員ノ質問シタ所ハ滿載吃水線ノ標  
示ニ於テ北大西洋ト云フコトガアリマスカラ、ソコ  
デ我國ニ於テモ之ガ定ツタ以上ハ、其方面ノ海上ニ應  
ズル線路ガアラウト思ヒマシタカラ、念ノ爲ニ伺ツタ  
ノデアリマス

○政府委員(若宮貞夫君) 私ハ誤解シテ申譯ガゴザ  
イマセヌ、唯今ノ御趣意ノ通り貨物船ノコトハ北大  
西洋、印度洋ニ幾ツモ線ヲ作ッテドチラヘ參ッテモ差  
支ナイ線ヲ引ク豫定ニナツテ居リマス、大變誤解シテ  
居ッテ申譯ガゴザイマセヌ

○委員長(伯爵堀田正恒君) 御質問アリマセヌカ  
○橋本辰二郎君 モウ皆サン御質問ガ無ケレバ何レ  
討論ニ這入ル事ト思ヒマスガ、討論ニ這入ル前ニ於  
キマシテ希望ノ質問ヲ致シタイト思ヒマス、此法律  
ヲ實施スルニ付テ要スル所ノ費用ハ六万八千圓ト云  
フコトデアリマシテ、其技術者ハ十二名ト云フ事ニ  
ナツテ居リマスガ、日本ニ在ル所ノ五百噸以上ノ船舶  
ノ乾舷以上ヲ三箇年ニ於テ完成スルコトハ一大仕事  
デアラウト思フノデアリマス、然カルニ戰後日本ノ  
船舶ト云フモノハ一時非常ニ激増イタシタノデアリ  
マスガ、之ヲ調査スル所ノ技術官ガ此改正ニ順應ス  
ルコトガ出來ズシテ、常ニ不足ヲ感ジテ居ツタ次第デ  
アリマス、是ハ船舶所有者ニ於キマシテモ非常ニ不  
便ヲ感ジタノミナラズ、技術官其人ニ於キマシテモ  
常ニ調査ノ爲ニ心身共ニ疲勞スルヤウナ有様デアッ  
タト思ヒマスガ、今日ニ於キマシテハ多少其補充ノ  
途ガ付キマシテ、幾分カ緩和サレタヤウニ聞キマス  
ガ、マダ十分デナイト私ハ承知シテ居リマス、然ルニ  
今回ノ乾舷法ノ設置ニ付キマシテ、是等從來船舶ノ  
検査ヲ専門ニ執ッテ居リマシタ所ノ技術官ヲシテ、此  
乾舷以上マデ助勢セシメルコトニナリマシタラ愈々  
船舶検査ノ方ノ事務ガ滯滞スル事ニナリマシテ、爲  
ニ船舶所有者ニ少カラズ迷惑ヲ及ボス虞ガアラウト  
私ハ思フノデアリマスガ、願クハ政府ニ於キマシテ  
モ、此乾舷法ノ實施ノ爲ニ何レ此乾舷ノ指定ナル  
モノガ検査ト同時ニ出來ルモノデゴザイマシテ、此  
乾舷法ノ實施ノ爲ニ検査期日ヲ遅延セシメマシテ、

○政府委員(若宮貞夫君) 畏リマシタ、成ルベク御  
趣意ニ副フヤウニ十分努力スル積リデアリマス  
○委員長(伯爵堀田正恒君) モウ御質問ゴザイマセ  
ヌカ 御質問ガゴザイマセヌケレバ討論ニ入りマ  
シテ決シタイト思ヒマスガ、御意見ガゴザイマスレ  
バ御述ベテ願ヒマス

○黒岡帶刀君 私ハ意見ハアリマセヌ  
○男爵斯波忠二郎君 私ハ此法案ニ贊成ヲ致シタイ  
ト思ヒマス、大體ノ御趣意ハ、先般政府當局カラ御説  
明ニナツタヤウデアリマス、元來日本ト致シマシテハ、  
世界中ノ第三位ニ居ル海運國デアリマス、今マデ此  
滿載吃水線ガ無カッタノガ寧ロ不思議デアリマス、此  
際之ヲ御設定ニナツタ事ハ私ハ大イニ贊成イタシマ  
ス先達テモ政府當局カラ御説明ガアリマシタヤウニ  
此滿載吃水線ハ船舶ニ明示サレテ居ラヌ結果ト致シ  
マシテ、從來屢々故障ヲ起シタコトガアル様ニ承知  
イタシテ居リマス、例ヘバ外國ノ船ガ行キマス、或  
ル程度マデ荷物ヲ積マシテ、出帆セントスルニ際シ、  
當該官憲カラ故意デハナイカ知リマセヌガ、故障ヲ  
申込デ出帆ヲ延期サセタト云フ事實ガアツタヤウ  
ニ、又船舶ノ貸借、傭船其他ノ貸借ノ場合ニ於テ、貸  
ス借ルノ場合ニ於テ、大キナ載貨ヲ標準ト致シテ傭  
船料ヲ決定イタシマス、ソレガ決マツテ居リマセヌト  
云フト、相互ノ間ニ紛議ヲ來タスヤウナコトガ無キ  
ニシモアラズ、又惡イ船主ノ如キ、極小サナ船主デ利  
益一方デアアル船主ノ如キハ、船長ガ危險状態ニアル

船舶所有者ニ迷惑ヲ及ボスノミナラズ、延テハ國家  
ノ損害ニナルヤウナコトニナラヌヤウニ十分御努力  
ヲ願ヒタイト思ヒマス、政府ノ御考ハ如何デゴザイ  
マスカ、之ト同時ニモウ一ツ最モ小サナ帆船、是ハ  
石炭、石、木材等ヲ運ブ帆船ニ於テハ成ルベク檢定ノ  
能率ヲ輕減イタシマシテ、重キ負擔ヲサセナイヤウ  
ニ御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス、又此法律ノ實施ニ  
付キマシテモ、出來得ル限り相當ノ期間ヲ存シマシ  
テ、當業者ヲシテ迷惑ヲ輕カラシムルヤウナ方法ヲ  
御執リニナルコトヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス、此  
二點ニ關シマシテノ政府ノ御考ノ程ヲ此際ニ於テ承  
ツテ置キタイト思ヒマス

船舶所有者ニ迷惑ヲ及ボスノミナラズ、延テハ國家  
ノ損害ニナルヤウナコトニナラヌヤウニ十分御努力  
ヲ願ヒタイト思ヒマス、政府ノ御考ハ如何デゴザイ  
マスカ、之ト同時ニモウ一ツ最モ小サナ帆船、是ハ  
石炭、石、木材等ヲ運ブ帆船ニ於テハ成ルベク檢定ノ  
能率ヲ輕減イタシマシテ、重キ負擔ヲサセナイヤウ  
ニ御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス、又此法律ノ實施ニ  
付キマシテモ、出來得ル限り相當ノ期間ヲ存シマシ  
テ、當業者ヲシテ迷惑ヲ輕カラシムルヤウナ方法ヲ  
御執リニナルコトヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス、此  
二點ニ關シマシテノ政府ノ御考ノ程ヲ此際ニ於テ承  
ツテ置キタイト思ヒマス

ト言フニ拘ラズ、積過ギサセルヤウナコトガ無キニシモアラズ、此法ヲ制定セラレタ上ハ、サウ云フコトモ一掃サレヤウト考ヘマス、此案ハ至極結構ナ案ト思ヒマス、唯此案ヲ施行イタシマス上ニ大イニ考慮シナケレバナラスコトハ、諸外國ニ於テハ既ニ此法ヲ制定イタシマシテモ、諸外國ノ間ノ互認ト云フコトガ最モ大切デアリマス、是ハ行キサヘスレバ誠ニ結構デアリマス、此上ハ過日モ橋本君カラ御質問ガゴザイマシテ政府當局ノ御説明ガアリマシタカラ、其了解ヲ得ル見込ハ十分デアルト云フ御説明デアリマシタ、又或ル他ノ方面カラ私ガ聞イタ所ニ依リマシテモ、ソレハ十分可能性ヲ帯ビテ居ルト聞イテ居リマス、サウ致セバ此法ヲ施行スル上ニ於テモ十分此法ノ效力ヲ發揮スルコトト考マスカラ、此法案ニ對シマシテハ、私ハ賛成ヲ致シマス

○橋本辰二郎君 本案ニ對シマシテハ、私ノ言ハムト欲スル所ノモノハ斯波男爵ニ於テ既ニ言ヒ盡サレテ居リマシテ、別ニ私ノ之ニ蛇足ヲ加フル必要ナイノデゴザイマス、私ハ全然斯波男爵ノ唯今御演說ニナリマシタコトニ賛成イタシマス

○小松謙次郎君 私モ全ク斯波男爵ノ御意見ト同様デアリマシテ、原案ヲ即時ニ御可決アラムコトヲ希望イタシマス

○黒岡帶刀君 私モ是マデ缺點デアッタコトヲ補フ爲ニ拵ヘル、不備ノ點ヲ補フコトニ付テハ滿腔ノ賛成ヲ致シマス

○星島謹一郎君 私ハ異議ハゴザイマセヌ

○福永吉之助君 異議アリマセヌ

○委員長(伯爵堀田正恒君) 皆サン御異議ガナイヤウデゴザイマスカラ、此案ハ原案ノ通りニ決シタト致シマス、是デ散會イタシマス

午後零時十二分散會

出席者左ノ如シ

- |      |      |      |
|------|------|------|
| 委員長  | 伯爵堀田 | 正恒君  |
| 副委員長 | 男爵斯波 | 忠三郎君 |
| 委員   | 黒岡   | 帶刀君  |

國務大臣

政府委員

遞信省管船局長 若宮 貞夫君

遞信大臣 野田 卯太郎君

小松 謙次郎君  
男爵赤松 範一君  
福永 吉之助君  
星島 謹一郎君  
橋本 辰二郎君

大正十年二月十八日印刷

大正十年二月十九日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局